NEWS RELEASE
帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

2026 年 10 月 29 日

細胞・遺伝子治療 CDMO によるグローバルアライアンス「ACGMP」の創設メンバーに参画

帝人リジェネット株式会社

帝人グループの再生医療 CDMO 事業会社である帝人リジェネット株式会社（本社：東京都千代田区、社長：細山 剛）は、2026 年 9 月 25 日付で、細胞・遺伝子治療分野の CDMO（*）で構成されるグローバルアライアンス [Alliance of CGT Manufacturing Partners（ACGMP、CGT：Cell and Gene Therapy）]への参画契約を締結しました。帝人リジェネットは、本アライアンスの創設メンバーとしての参画を通じて、グローバルな開発・製造支援ネットワークを強化し、細胞・遺伝子治療製品の実用化促進と患者さんへの革新的な治療法の早期提供に貢献していきます。

（*）CDMO（Contract Development and Manufacturing Organization）
医薬品や再生医療等製品の開発プロセスの検討から製造までを受託する事業者。

１．背景・経緯

近年、細胞・遺伝子治療分野では革新的な治療法の研究開発が世界的に進展しています。一方で、製造工程の複雑化や品質・規制要件の高度化に伴い、高度な専門性を有する CDMO へのニーズが高まっています。また、開発企業のグローバル展開が進む中、各地域における製造、品質管理および規制対応を含めた支援体制の構築が重要となっています。こうした背景のもと設立された ACGMP は、各国・地域の専門 CDMO が連携し、細胞・遺伝子治療の開発企業が、技術的能力と地域における事業基盤を有する製造パートナーへ円滑にアクセスできるネットワークの構築を目指しています。

２．ACGMP 参画の目的

ACGMP では、加盟企業が共同で情報発信を行うことで、細胞・遺伝子治療の開発企業に対する認知度と信頼性の向上を図るとともに、加盟企業間での顧客案件の紹介や共同プロジェクトの推進に取り組んでいます。また、品質および技術移管に関する共通ツールの整備や、加盟企業の技術・品質チーム間の連携も計画しています。帝人リジェネットは、本アライアンスへの参画により、国内外の細胞・遺伝子治療の開発企業に対する支援体制を拡充するとともに、加盟企業との知見共有を進め、開発企業に対する提供価値の向上を図ります。

３．今後の展望

帝人リジェネットは、ACGMP への参画を通じて、グローバルな開発・製造支援ネットワークを強化します。また、社内外の技術・知見・ネットワークを組み合わせることで新たな価値創出を進め、革新的な細胞・遺伝子治療製品の実用化と普及に貢献していきます。

〈Alliance of CGT Manufacturing Partners（ACGMP）について〉

ACGMP は、独立系の専門的な細胞・遺伝子治療 CDMO で構成されるグローバルアライアンスです。創設メンバーは、Cell Therapies（オーストラリア・メルボルン）、eXmoor Pharma（英国）、Nucelion Therapeutics（インド・ハイデラバード）、Siam Bioscience（タイ・バンコク）、SCTbio（チェコ・プラハ）、帝人リジェネット（日本・東京）および Xellera（香港）の 7 社です。欧州、アジアおよびオセアニアに広がる専門 CDMO のネットワークを通じて、治療法開発企業が各プログラムに必要な技術的能力と地域における事業基盤を有する製造パートナーへアクセスできるよう支援します。共同での情報発信、顧客案件の紹介、品質・技術移管に関する連携などを通じて、複数地域での細胞・遺伝子治療の開発・製造を支援することを目指しています。

以　上

【 報道関係のお問合せ先 】
帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL：(03)3506-4055